

地域の課題 I (地域企業版) 2018年度

1) 概略

科目名称	地域の課題 I(地域企業版)
テーマ	様々な事象が地理的、歴史的、文化的、さらには経済的、科学技術的な文脈に深く埋め込まれ、かつ、今後はグローバルにもつながることが想定される地域企業の課題発見
講義内容	大きく以下の項目について学ぶ 1. 日本と宮城県地域の経済の現状と今後の可能性について 2. 事象を読み解く視点と要素 3. 事例研究:地域内企業がどのように発展しようとしているか 4. 事例研究:地域内企業の発展の可能性を考える これらを通して、自己と世界の関係性を認識し、「知的活動のためのコア能力」としての①メタ学習能力、②フレームワークの活用能力、③多様性受容能力の三つの強化を図る
達成目標	①自らの学習プロセスを説明できるようになる。②講義で取り扱う地域企業の課題を論理的に示すことができる。③異なる分野の考えを取り入れて、より多面的に課題を示せるようになる

2) 講義スケジュール(予定)

	枠組	概要	事前事後の学修
第01回	ガイダンス ~なぜ地域をテーマに学ぶのか~	ガイダンス:この授業の目的と到達目標、内容、学び方、留意事項について詳しく説明する。 評価指標の提示:この授業で重視する「知的活動のコア能力」について概説し、この授業の評価指標とルーブリックを示す ※事前アセスメントを実施する	【事前学修】シラバスを事前に読み、その内容を理解する 【事後学修】評価指標の内容を理解し、自らの学習計画を立てる
第02回	日本経済の今後	講義:「The Futures of Employment」、「日本再興戦略2016」を題材に、日本経済の今後の可能性を考える 個人ワーク:日本経済の今後と自分自身の学び方について考察する グループワーク:考えた内容を共有し、相互に「なぜそう言えるか」という観点を中心に討論する。その上で今後の学習の方向性を考える	【事前学修】「日本再興戦略2016」(https://www.kantei.go.jp/jp/singi/keizaisaisei/pdf/2016_zen_taihombun.pdf)を読み、概要を理解する 【事後学修】授業内での議論を踏まえて日本経済の今後の方向性を踏まえた自らの学び方について考察する
第03回	学習経験のふりかえりと対話型グループワーク	グループワーク:これまでの学習経験からどのような思考行動特性を習得したかを振り返り、その内容を共有する 講義:論理構成と討論の手法 グループワーク:それぞれの学習経験を共有し、思考行動特性を強化するために必要な学習について議論する	【事前学修】自分自身がこれまでの学習経験を通して身につけた事柄を、宿題シートの項目に従ってまとめる 【事後学修】授業内での議論を踏まえて自らの思考行動特性を強化するために必要が学習について考察する
第04回	世界をとらえる視点と要素	グループワーク:それぞれの学習経験をもとに、未知の事象に対してどのようなアプローチで取り組むべきかについて討論する 講義:担当教員の専門分野を例に、事象を理解するためのフレームワークについて解説し、システムとして地域を見る際の視点と要素を示す	【事前学修】これまでの学習経験の中で、自分自身が未知の事象に出会った時にどのような見方や行動をしてきたかを宿題シートの項目に従ってまとめる 【事後学修】授業内での議論を踏まえてシステムとして地域を見る際に必要な視点と要素を自らの専門領域と関連付けて考察する
第05回	地域経済を取り巻く状況(1) 仙台市の事例	講義:仙台市の現状を、人口構造、産業構造をベースに主に経済的な側面から解説する 個人ワーク:講義内容をもとに、仙台市の経済の今後の可能性について考察する グループワーク:個人ワークの内容を共有し、それぞれの考えの根拠について評価する	【事前学修】仙台市の状況に関する事前配布資料を読み、概要を理解する 【事後学修】授業内での議論を踏まえて仙台市の経済の今後の可能性について考察する
第06回	地域経済を取り巻く状況(1) 宮城県の事例	講義:宮城県の現状を、人口構造、産業構造をベースに主に経済的な側面から解説する 個人ワーク:講義内容をもとに、宮城県の経済の今後の可能性について考察する グループワーク:個人ワークの内容を共有し、それぞれの考えの根拠について評価する	【事前学修】宮城県の状況に関する事前配布資料を読み、概要を理解する 【事後学修】授業内での議論を踏まえて宮城県の経済の今後の可能性について考察する
第07回	世界経済の潮流	講義:「世界経済の潮流 2017年I」の内容をもとに、経済のグローバル化やアジア地域の経済の動向と構造変化について考える 個人ワーク:世界経済の今後と地域経済の関係について考察する グループワーク:個人ワークの内容を共有し、相互に評価する	【事前学修】「世界経済の潮流 2017年I」(http://www5.cao.go.jp/keizai3/2017/sekai17shiryou.pdf)を読み、概要を理解する 【事後学修】授業内での議論を踏まえて世界経済の今後と地域経済の関係について考察する
第08回	地域経済の今後	個人ワーク:世界経済、日本経済の動きから地域経済の今後について考察する グループワーク:個人ワークの内容を共有し、相互に評価・改善する 全体共有:個人ワークの内容を全体で共有し、教員からの評価を受ける	【事前学修】地域経済の今後について、宿題シートにまとめる 【事後学修】授業内での議論を踏まえて地域経済の今後について考察する
第09回	事例研究1(震災後の起業)	講義:事例となった企業の現状とこれまでの取り組みについて解説する 講義:企業を読み解くフレームワーク 個人ワーク:事例となった企業のビジネスモデルをひもとき、どのような特徴があるかを考察する グループワーク:個人ワークの内容を共有し、相互に評価・改善する	【事前学修】地域企業の事例に関する事前配布資料を読み、概要を理解する 【事後学修】授業内での議論を踏まえて事例企業のビジネスモデルを評価する
第10回	事例研究2(経営革新への挑戦)	講義:事例となった企業の現状とこれまでの取り組みについて解説する 講義:企業を取り巻く外部環境と内部資源 個人ワーク:事例となった企業の外部環境と内部資源をひもとき、どのように適応したかを考察する グループワーク:個人ワークの内容を共有し、相互に評価・改善する	【事前学修】地域企業の事例に関する事前配布資料を読み、概要を理解する 【事後学修】授業内での議論を踏まえて事例企業の内部資源を評価する
第11回	事例研究3A(地域企業の現状と外部環境)	講義:事例となった企業の現状とこれまでの取り組みについて解説する 個人ワーク:事例となった企業の外部環境と今後の変化について考察する グループワーク:個人ワークの内容を共有し、相互に評価・改善する	【事前学修】地域企業の事例に関する事前配布資料を読み、概要を理解する 【事後学修】授業内での議論を踏まえて事例企業の現状と外部環境についてまとめる
第12回	事例研究3B(地域企業のビジネスモデルと内部資源)	講義:事例となった企業の現状とこれまでの取り組みについて解説する 個人ワーク:事例となった企業の外部環境と今後の変化について考察する グループワーク:個人ワークの内容を共有し、相互に評価・改善する	【事前学修】地域企業の事例に関する事前配布資料を読み、ビジネスモデルと内部資源について宿題シートにまとめる 【事後学修】授業内での議論を踏まえて事例企業の現状と外部環境についてまとめる
第13回	地域企業の将来像	グループワーク:事前学習の内容を共有し、第11回、第12回の講義や各自の調査結果をもとに相互に評価・改善する 講義:課題の見出し方 個人ワーク:グループワークや講義の内容を踏まえて、事例となった企業の発展可能性を考察する グループワーク:個人ワークの内容を共有し、相互に評価・改善する	【事前学修】地域企業の事例に関する事前配布資料を読み、その企業の発展可能性について宿題シートにまとめる 【事後学修】授業内での議論を踏まえて事例企業の現状と外部環境についてまとめる
第14回	地域企業の課題	個人ワーク:前回の講義と事前学習の内容をもとにケース企業の課題をまとめる グループワーク:個人ワークの内容を共有し、相互に評価・改善する 全体共有:グループ単位でまとめたケース企業の課題を全体で共有する	【事前学修】事例企業の課題とそれを解決するための方策を宿題シートにまとめる 【事後学修】授業内での議論を踏まえて事例企業の課題についてまとめる
第15回	ふりかえり	個人ワーク:これまでの講義の内容を振り返り、コンセプトマップ上にまとめ、これまでに学んだ知識の関連性を整理する 共有:コンセプトマップの内容をチーム内で共有し、他者の学びと自分の学びを比較する ※事後アセスメントを実施する	【事前学修】これまでの講義の中で重要だと考える事柄を30項目程度抽出し、宿題シートにまとめる 【事後学修】授業内での議論を踏まえて自分自身の学びの構造について考察する

3) 成績評価等

成績評価方法	ミニツツペーパー等 65%、最終レポート 35%
学修に必要な準備	普段の学部の授業での学びを表面的に捉えるのではなく、他の事象に適用するという観点で捉える努力をしてください。地域企業の取り組みに関するニュース、特集番組などを視聴する、新聞記事を読む、といったことを心がけると講義の内容がより深く理解できます。
履修上の注意	この授業は一方的な講義で終始するものではありません。他の受講生とのディスカッションや、授業時間外の調査も必要になりますので、その心づもりを持って受講してください。ただし、何らかの事情でグループワークへの参加が困難な学生に対しては必要な対応を取りますので担当教員に申告してください。 また、最終レポートは授業の内容の理解ではなく、それをどのように応用するかを問います。自分なりの考えを論拠・証拠とともに表明できるようになることが必要です。 (注意)必要に応じて、地域課題版と地域企業版の間で受講者の人数調整をする場合があります。 ※オフィスアワーについては、授業内で指示します。